



平成30年1月29日

各 位

会社名 太洋工業株式会社
 代表者名 代表取締役社長 細江美則
 (JASDAQ・コード: 6663)

問合せ先
 役職・氏名 経営企画部長 園部直孝
 電 話 073-431-6311

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、平成29年1月30日付当社「平成28年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」において開示した平成29年12月期(平成28年12月21日～平成29年12月20日)の業績予想を下記のとおり修正することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成29年12月期 通期連結業績予想の修正等

	売上高	営業損益	経常損益	親会社株主に 帰属する 当期純損益	1株当たり 当期純損益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	5,173	62	55	14	2.51
今回修正予想 (B)	4,238	△29	21	5	0.92
増減額 (B - A)	△934	△92	△33	△9	—
増減率 (%)	△18.1	—	△60.3	△63.5	—
(参考) 前期連結実績 (平成28年12月期)	4,979	57	93	56	9.70

2. 平成29年12月期 通期個別業績予想の修正等

	売上高	営業損益	経常損益	当期純損益	1株当たり 当期純損益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	4,884	40	50	10	1.72
今回修正予想 (B)	4,022	△51	32	20	3.46
増減額 (B - A)	△862	△92	△17	10	—
増減率 (%)	△17.7	—	△35.7	100.7	—
(参考) 前期個別実績 (平成28年12月期)	4,770	18	102	144	24.66

3. 修正理由

通期連結業績予想の売上高については、鏡面研磨機事業において機械の販売が計画より増加した一方で、商社事業において中小型ディスプレイ向けの液晶モジュール検査システムの販売が計画を下回ったこと、基板検査機事業において通電検査機の受注は計画を上回ったものの、中国市場における外観検査機の販売が計画を下回ったこと、及び電子基板事業においてF P C試作が計画を下回ったことから、当初予想を下回る見込みであります。損益については、鏡面研磨機事業における売上高増加に伴う影響や、保険解約返戻金を営業外収益に計上したこと等による利益増加要因はあったものの、主として上述の売上高が当初予想を下回ったことに伴う影響により、当初予想と比較して営業損益は悪化、経常損益及び親会社株主に帰属する当期純損益はそれぞれ下回る見込みであります。

通期個別業績予想については、主として、連結子会社の株式会社ミラックにおける鏡面研磨機事業の影響を除いた通期連結業績予想の修正理由により、売上高は当初予想を下回り、営業損益は悪化する見込みであります。また、株式会社ミラックの業績が堅調に推移したため、同社に対する貸倒引当金戻入額を営業外収益に計上したこと等による利益増加要因はあったものの、当初予想と比較して経常損益は下回り、想定していた特別損失が発生しなかったこと等の影響により当期純損益は上回る見込みであります。

4. 平成29年12月期配当予想

期末配当金については、平成29年1月30日付当社「平成28年12月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」からの変更はなく、期末に普通配当として1株当たり3円00銭の配当（年間配当金3円00銭）を行う予定であります。なお、本件については、平成30年3月16日開催予定の第57期定時株主総会に付議する予定であります。

※本業績予想等については、現時点で入手可能な情報及び合理的と考える一定の前提に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等の様々な要因により、予想数値と大きく異なる可能性があります。

以 上